

令和6年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（保健体育）

受験番号	中保体	氏名	
------	-----	----	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 「退席」の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 保健体育編」について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 「第 2 章 保健体育科の目標及び内容」の「第 2 節 各分野の目標及び内容 体育分野 3 内容の取扱い」において、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるとあるが、必ず取り上げて指導しなければならない内容は何か書きなさい。また、保健分野の内容と関連を図ることとある。その内容を書きなさい。

(2) 「第 3 章 指導計画の作成と内容の取扱い」において、障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うことが示されている。身体の動きに制約があり、活動に制限がある生徒への指導に際して、生徒の実情に応じて仲間と積極的に活動できるよう、配慮する点を 2 つ書きなさい。

2 第 3 学年の体づくり運動「実生活に生かす運動の計画」の学習について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 自己の日常生活を振り返り、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るため、体の動きを高める運動の計画を立てて取り組むことが大切である。生徒が運動を組み合わせ、計画を立てて実践できるようにする際、教師として着目させる点を 2 つ書きなさい。

(2) 総合的に体の動きを高めることで調和のとれた体力の向上が図られるよう配慮する必要がある。新体力テストの測定結果を利用して、運動の計画を立てる際、留意する点を書きなさい。

3 第 1 学年の器械運動「マット運動」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 回転系の接転技群とほん転技群は、どのように回転する技のことをいうのか、それぞれ書きなさい。

(2) 生徒が技に挑戦している場面で、自分の課題を見付けられるように ICT 機器を活用させたい。自分の課題を見付けるため、比較という視点で ICT 機器の活用方法を具体的に書きなさい。

(3) 「開脚前転」の練習で、起き上がることができず困っている生徒がいる。その生徒の課題として考えられることについて具体的に書きなさい。また、その生徒に対するアドバイスも具体的に書きなさい。

4 第2学年の陸上競技「短距離走・リレー」の学習について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 「短距離走」で用いられるスタート法を書きなさい。また、そのスタート法の「用意 (set)」の姿勢について、運動のポイントを生徒に提示するとき、どのような内容を提示するとよいか具体的に書きなさい。

(2) 「リレー」のバトンパス (オーバーハンドパス) において、次の①～③の問いに答えなさい。

① 生徒にバトンパスの練習を段階的に行わせることとした。初期段階において、どのようなバトンパスの練習を取り入れるとよいか2つ書きなさい。

② バトンパスにおいて、どのようなことを生徒に意識させるとよいか。前走者 (渡し手) と次走者 (受け手) それぞれについて具体的に書きなさい。

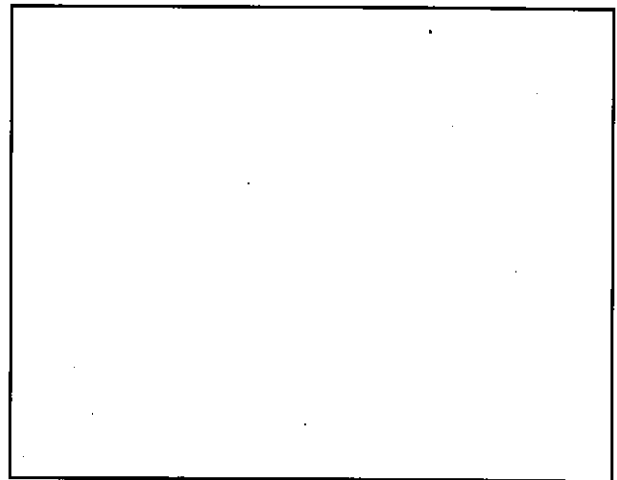
③ バトンパスにおいて、前走者が次走者に近付きすぎてスピードの失速が見られた。その際の原因は何が考えられるか具体的に書きなさい。また、その解決法について、生徒が気付くことができるようにするために、どのような学習活動を取り入れるとよいか具体的に書きなさい。

5 第3学年の球技「ゴール型 サッカー」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) シュート練習を行っている場面で、全力で蹴りゴールの枠外にボールが飛んでしまう生徒がいた。その生徒に枠内にコントロールできるようアドバイスをしたい。その際のキックの種類と、そのキックのポイントを書きなさい。

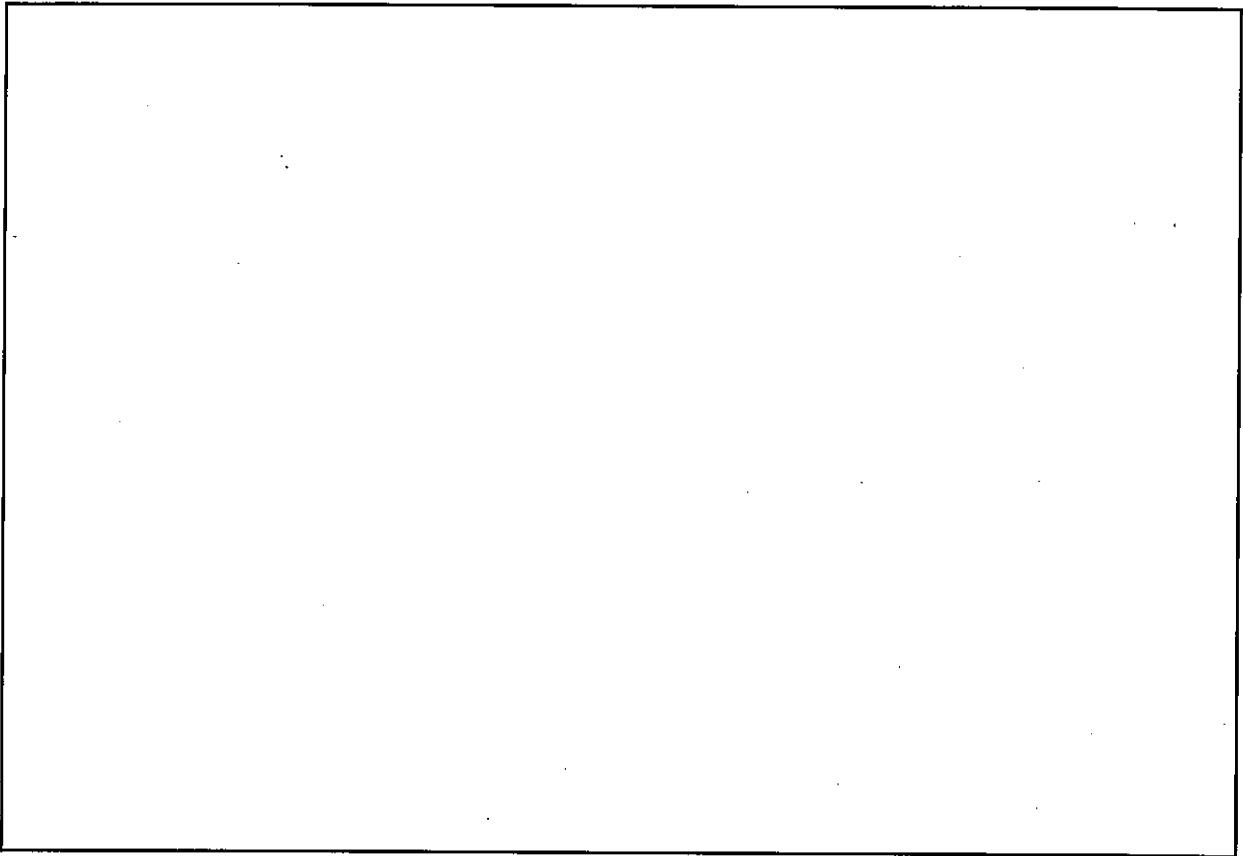
<図1>

(2) 仲間と連携した動きによってゴール前に侵入する攻防の練習をするため、2対2を行った。その際、生徒に守備について考えさせたい。<図1>の守備者Aが注意することを、具体的に書きなさい。
(攻撃者Bのマークに関することは除く)



(3) 単元を通して男女共習で学習を行ってきた。単元の最後にゲームを行う際、チーム全員で楽しむことができるような指導の工夫を2つ書きなさい。

- 6 第1学年の武道「柔道」の学習について、以下のような単元計画を作成した。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。



- (1) 単元の中で生徒が進んで課題を発見できるように ICT 機器を活用したい。どのような場面と方法で ICT 機器を活用するとよいか、具体的に書きなさい。
- (2) 下線部 (A) において、授業前に武道場等の施設の安全確認をする際、どのような点に留意することが大切か、具体的に2つ書きなさい。
- (3) 下線部 (B) において、学習した内容を踏まえ、2人組またはグループで安全に「ごく簡単な攻防」ができるようにしたい。どのような攻防が考えられるか、具体的に書きなさい。
- (4) 下線部 (C) において、6時間目にどのような内容で、かかり練習をするとよいか。段階的な指導を踏まえて、具体的に2つ書きなさい。

7 第2学年の「傷害の防止」の学習について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 「交通事故による傷害の発生要因」の学習において、中学生の交通事故の特徴をもとに生徒が身近な生活から課題を発見し、解決について考える活動を行うこととした。中学生の自転車乗用中の事故の発生要因について、人的要因、環境要因、車両要因をそれぞれ書きなさい。

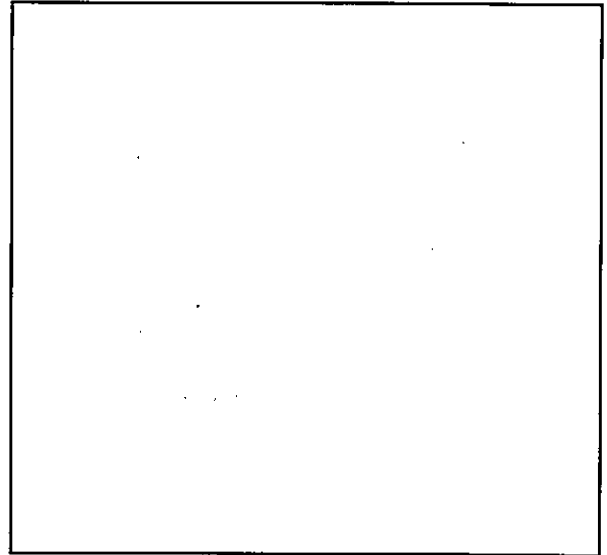
(2) 自然災害による傷害の防止について、地域のハザードマップを確認することで、生徒が自然災害への備えの必要性について考えられるようにしたい。ハザードマップにおいて、周囲の環境のどのようなことを確認することが大切か具体的に書きなさい。

(3) 「応急手当」について、次の①、②の問いに答えなさい。

<図2>

① 「応急手当の意義」について学習する際、
<図2>をもとに、生徒に考えさせたいことは、どのようなことか具体的に書きなさい。

② 傷病者の心臓や肺の働きが停止した場合、居合わせた人が行うべき応急手当を書きなさい。



保健体育	解答用紙	2枚中の1	受験 番号	中保体	氏 名	(6年)
------	------	-------	----------	-----	--------	------

1	(1)	(指導しなければならない内容)
		(保健分野の内容)
(2)		

2	(1)	
(2)		

3	(1)	(接転技群)	(ほん転技群)
	(2)		
(3)		(課題)	(アドバイス)

4	(1)	(スタート法)
		(ポイント)
(2)	①	
	②	(前走者・渡し手)
		(次走者・受け手)
	③	(原因)
		(学習活動)

保健体育	解答用紙	2枚中の2	受験番号	中保体	氏名	(6年)
------	------	-------	------	-----	----	------

5	}	(1)	(種類)	(ポイント)
		(2)		
		(3)		

6	(1)	(場面)
		(方法)
	(2)	
(3)		
(4)		

7	(1)	(人的要因)
		(環境要因)
		(車両要因)
(2)		
(3)	①	
	②	

以下はあくまでも解答の一例です

保健体育	解答用紙	2枚中の1	受験 番号	中保体	氏 名		(6年)
------	------	-------	----------	-----	--------	--	------

1	(1)	(指導しなければならない内容)	水泳の事故防止に関する心得 等	【5点】
			(保健分野の内容)	応急手当 等 【5点】
(2)			用具やルールの変更を行う。等	【5点】
			必要に応じて補助用具の活用を図る。等	【5点】

2	(1)	ねらいは何か、いつ、どこで運動するのか、どのような運動を選ぶのか、どの程度の運動強度、時間、回数で行うか 等	【各5点】	
			同上	
(2)			測定項目は体力の一部を測定するものであり、いろいろな動きで体力を高める必要がある。成長の段階によって発達に差があることなどを理解させ、測定項目の運動のみを行うことがないようにする。測定値の向上のために過度な競争をおおったりすることのないようにする。等	【10点】

3	(1)	(接転技群) 背中をマットに接して回転する技 等	(ほん転技群) 手や足の支えで回転する技 等
		【5点】	【5点】
	(2)		・事前に用意した参考動画と自分の動画を比較する。等 ・上手にできている生徒の動画を撮影し、自分の動画と比較する。 等
(3)		(課題) ・着手の時にマットを押せていない。 等	(アドバイス) ・手でしっかりマットを押し放して、勢いをつけよう。等
		【5点】	【5点】

4	(1)	(スタート法) クラウチングスタート	【2点】	
		(ポイント) 後ろ脚のひざが伸びきらないようにする、目線をスタートラインの先にする、体重を両手にかける 等	【3点】	
	(2)	①	その場で止まって腕を振りながらバトンパスの練習をする 等	【5点】
			ジョギングをしながらバトンパスをする 等	【5点】
		②	(前走者・渡し手) 相手の手のひらに押し込むようにバトンの上部を渡す 等	【5点】
			(次走者・受け手) 腕を地面と平行になるまで上げて、手を開いて相手に向ける 等	【5点】
		③	(原因) 次走者のスタートするタイミングが遅い 等	【5点】
	(学習活動) ICT 機器で撮影した動画を仲間同士で見合い、話し合う学習活動 等	【5点】		

以下はあくまでも解答の一例です

保健体育	解答用紙	2枚中の2	受験番号	中保体	氏名	(6年)
------	------	-------	------	-----	----	------

5	(1)	(種類) 【5点】 インサイドキック、 インステップキック、 インフロントキック 等	(ポイント) 【5点】 インサイドキック・・・軸足のつま先をシュートする方向に向ける、 インステップキック・・・軸足をボールから少し離れた位置に置く、 インフロントキック・・・足の親指のつけ根あたりでける。 等
	(2)	ゴール前の空いている場所、 Cの選手のカバーをすること。 等 【10点】	
	(3)	心身ともに発達が著しい時期であることを踏まえ、体力の差や、技術の差が均等になるようなチーム編成にする。人数を減らしたり、ボールの数を増やしたりするなど、ボールに触れる時間が多くなるようなルールに変更する。男子が入れない、女子にとっての安全ゾーンなどを作り、プレーエリアを確保する。 等 【各5点】	
		同上	

6	(1)	(場面) 授業の導入でめあてを確認する場面 等 【2点】
		(方法) 前時に撮影した自分の動画をICT機器で視聴し、めあてに沿った課題を確認する。等 【3点】
	(2)	畳やマット等がやぶれていたり、穴が空いていたり、ずれていたりしていないか、 釘やささくれ、紙などの危険物が落ちてないか、壁にささっていないかどうか。 等 【各5点】
		同上
(3)	ぶつからないよう、隣のグループや場所、範囲を設定し、2人1組で帯を引いて相手をくずす等の帯引きゲームを行う。 等 【10点】	
(4)	投げ技に入るまでの動き(崩し、体さばき、かけ)を繰り返し反復したり、ゆっくりした動きから速い動きに変えたりしながら、正しい技の形を身に付ける。技によっては受が片膝や両膝をついた姿勢や中腰の姿勢などからはじめ、徐々に立位の姿勢で行ったりするなど、受が協力して取が技をかけやすい姿勢をつくるように指導する 等 【各5点】	
	同上	

7	(1)	(人的要因) スピードの出し過ぎ、睡眠不足 等 【5点】
		(環境要因) 道路が狭い、ガードレールの未設置、悪天候による視界不良 等 【5点】
		(車両要因) ブレーキが効かない、ライトがつかない 等 【5点】
(2)	大雨のときに氾濫しやすい河川、土砂崩れの恐れのある場所 等 【5点】	
(3)	①心臓と呼吸が止まってからできる限り早く救命処置をすれば助かる可能性が高いため、どれだけ早く手当を開始するかが生死を大きく左右すること 等 【5点】	
	②胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の使用 等 【5点】	